

地域みらい留学の背景となる取り組み

参照 URL① http://berd.benesse.jp/feature/future/topics_3/activity02/

参照 URL② <https://shimane-ryugaku.jp/>

①「島留学」

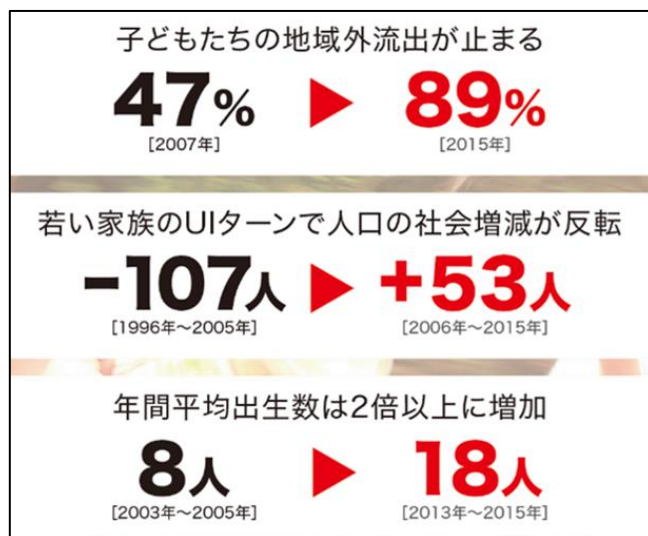
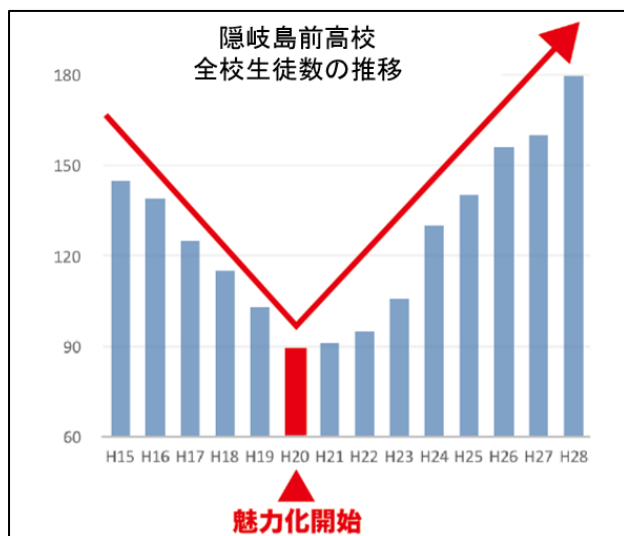
幼い頃から顔見知り同士、少数のコミュニティの中で生活をしてきた島根県隠岐島前地域の子どもたち。地域の方に見守られながら安心して暮らしができる反面、保護者の方からは「多様な価値観との出会いがない」などといった不安の声があがっていました。

「隠岐島前地域の生徒だけでは、生まれ育った環境が似ているため均質化した集団になってしまう。関係性の固定化や序列化が起こり、価値観も同質化しやすい。クラス替えもないような高校では、社会に出てから多様な人たちと関係を築く力やコミュニケーション能力が育ちにくい」

(魅力化の会事務局長の吉元操氏)

～ベネッセ教育総合研究所「シリーズ未来の学校」(上記参照 URL①) から引用～

同じ環境で育ち、似た価値観をもつ生徒たちの間では刺激が生まれにくく適度な競争心が育まれない。そういった不安から「島留学」が始まりました。平成 20 年度には 89 名だった隠岐島前高校の全校生徒が平成 28 年度には 180 名となり学級数も 3 から 6 へ倍増。県外生徒も 86 名となり学校生活に多様性が生まれました。学力面でのライバルができ進路が多様化したり、島内生では気づかなかった島の魅力を島外生が発見したりと、「島留学」により求めていた刺激と競争が生まれています。



② しまね留学

しまね留学とは、島根県外に住んでいる意欲ある中学生が、島根県の高校を受検し、入学し、島根県で充実した高校 3 年間をおくること。現在、島根県では、全国から意欲ある入学生「しまね留学生」を募集しています。全国から島根県へ学びに来る生徒の数はこの 6 年で、約 3 倍と右肩上がりが増えていきます。

■しまね留学の魅力

1. 公立高校で寮の数が日本一

実は、島根県は、公立高校の寮を日本一多く持っており、ほとんどの公立高校に寮が併設されています。寮生活を通して、自立に向け人間的に大きく成長できる機会がきっとあります。

2. 少ない、小さい、あまりない、だからいい

過疎・人口減少の先進県だからこそ、少人数教育が進んでいます。一人ひとりにあわせた手厚い指導、個性を大切にする教育と、アットホームな雰囲気はしまね留学の自慢です。

3. 本物の自然や文化、人情を堪能できる 3 年間

島根県には海外からも認められる自然や文化資源が多くあり、日本の原風景がここにあると言われます。四季の移り変わりを肌で感じ、豊かな自然と文化、人情を存分に体験してください。

4. 地域を舞台に、最先端の 21 世紀型学習

「しまね留学」を推進する高校のほとんどに、「コーディネーター」を配置し、高校と地域を結ぶ支援を行っています。教室だけでは収まらない未来型の新たな学びをつくっています。

5. 多彩に燃える部活にチャレンジ

島根県の高校には、全国的にも珍しい部活動や強豪の部活動がいくつもあります。地域の方々とともに地域資源や課題解決に挑戦する新しいタイプの部活にもチャレンジできます。

地域みらい留学フェスタに参加予定校の特色ある取り組み（1/5）

タイトル：島根県立横田高等学校「地域連携活動 だんだんカンパニー」

参照 URL：<http://www.yokota.ed.jp/cal/13>

■ だんだんカンパニーとは

高い志と自他を愛する心を持ち、ふるさとの未来を担う生徒を育てたい。

『だんだんカンパニー』とは、その理想の生徒像を求めて、地域と連携して活動する教育プログラムです。

■ 3年間の活動を通じて目指す姿

- (1) 社会人としての必要な知識・教養・モラル・向上心の育成
- (2) 将来の目標に向け邁進できる心身の育成（自己の進路との関連付け）
- (3) 地域資源や地域課題を理解し、地域社会に貢献する力育成

■ 1 学年「奥出雲学」

校外での活躍する方のインタビューを通じて、地域の職業や想いを理解し、奥出雲を魅力的にする提案をプレゼンテーションします。

■ 2 学年「だんだんカンパニーの運営」

- ・総合コース：商品の生産企画販売
- ・進学コース：研究発表



地域みらい留学フェスタに参加予定校の特色ある取り組み（2/5）

タイトル：北海道奥尻高等学校「まなびじま奥尻」

参考 URL：<http://www.town.okushiri.lg.jp/highschool/category/241.html>

■ まなびじま奥尻プロジェクトの主な活動

1. 町おこしの人材を育てる「町おこしワークショップ」
2. 奥尻の海の美しさを知り、その環境保全を考える「スクーバダイビング」
3. 奥尻の課題解決策を発信する「奥尻パブリシティ本部」
4. 遠隔学生の指導で難関大学突破を実現する「Wifi ニーネー」
5. 島を他校生との決闘の場とする「北の巖流島」プロジェクト
6. インバウンドを受け入れる人材を育成する「Okushiri English Saloon」
7. 塾のない島のハンデを補う出張講習「数学寺子屋」
8. 主体的な学びに向かう力を育てる「まなびづけ」
9. 良好な人間関係を構築する「ピアサポートプログラム」
10. 上級生が下級生に教えることで学びを深める「メンタリングシステム」



地域みらい留学フェスタに参加予定校の特色ある取り組み（3/5）

タイトル：群馬県立尾瀬高等学校「自然環境科における環境教育～自然との共生を図ることのできる人づくり～」

参考 URL：http://www.nc.oze-hs.gsn.ed.jp/?page_id=70

■ 自然環境科の目指すもの

多様な自然の中での自然観察や環境調査を通して、様々な課題を発見し解決する能力を身につけます。また、自然観察やキャンプなどの自然体験活動の実践を通して、豊かな感受性を磨くと共に、「自然とのふれあい」を啓発するためのコミュニケーション能力を高めます。そして卒業後も、ライフワークの一部として「自然とのふれあい」を啓発する活動を続け、自然環境（地球環境）の状態をできるだけ多くの人に正確に伝えられる人になることを目指します。

■ 主な環境教育プログラム

- ①多様な自然や人に接し、興味を持ち、課題を発見する。
- ②多様な自然や人の価値観に接し、多面性を理解する。
- ③自分の考えを持つ。状況に合わせた判断をする。討論する。
- ④自分の考えや自然からのメッセージをわかりやすく人に伝える。自己表現力や発表能力を高める。
(インタープリテーション能力、プレゼンテーション能力を高める。)



地域みらい留学フェスタに参加予定校の特色ある取り組み（4/5）

タイトル：利根沼田学校組合立利根商業高等学校「模擬株式会社利根商モール」

参考 URL：<http://toneshomall.wixsite.com/toneshomall2017>

■ 利根商モールとは

利根商業高等学校で行われる商業祭です。模擬株式会社として運営し、生徒は社員であり株主です。お店は各クラス2店舗を運営します。地元で人気のお店やインターネットから商品を仕入れたり、利根商モールでしか体験できないサービスを提供したり、生徒が調理をして販売するなど内容は盛り沢山です。生徒は笑顔を大切に、お客様におもてなしをしています！

■ 利根商モールの目的

（1）利根商モール全般の企画・運営を通して、生徒が主体的に取り組み、総合的な学習の場として、実践的・体験的な学習を行う機会とする。

（2）「販売」を通して、商品流通に関して基礎的な知識や接客マナーを身につける。

（3）商業高校生としての問題解決能力を養い、働くことの意義や尊さを自覚させ、望ましい勤労観・職業観を育成する。

■ 利根商モールの事業方針

・社訓「笑顔販売・接客第一」

・スローガン 顧客愛 ～安心と信頼の利根商モールへ～

（1）本校の独自性のある販売を行い、地域の方々から高く評価される店作りを目指す。

（2）来校者数3,000人以上 店舗利益総額150万円を目標に営業展開を行い、販売促進強化を図る。

（3）役員だけではなく、各自が分担して業務を行い、お客様の笑顔実現を目指した「利根商モール」を実施する。

（4）販売促進部販売促進課の指導のもと、学習の成果が発揮できるよう各店舗の販売力を向上させる。

（5）全国に誇れる「利根商モール」の実現に努める。



地域みらい留学の背景となる取り組み（5/5）

タイトル：沖縄県立久米島高等学校「久米島学習センター」

参考 URL：<https://kumejuku2015.wordpress.com/>

■ 久米島学習センターとは

平成 27 年度に開校した高校生対象の町営塾です。離島である久米島には、大きな予備校もなければ、静かに勉強できるスペースもありません。そんな島に住む高校生に、より良い学習環境を提供するために久米島学習センターは設立されました。

■ コンセプト 『選択を正解にする』

“現在の小学生の 65%は、大学卒業時に『今は存在していない職業』に就く”

ニューヨーク州立大学教授、キャシー・デビットソンの言葉です。急速な技術発展、グローバル化などにより、21 世紀は変化が激しい時代になると言われています。変化が激しい時代において、求められることはなんなのでしょうか？それは『選択を正解にする力』だと私たちは考えています。例えば、進路選択をするとき「どの進路を取ることが正解なのか」と考えてしまいがちです。ですが、どんな選択をしたとしてもその選択自体に正解はありません。選んだ道でどう生きるか、それ次第で自分の選択を正解にも不正解にもすることが出来るからです。現状は、自分次第でいかようにでも変えていくことが出来ます。学習センターに通う生徒には、そんな力を身につけてほしいと思っています。

■ 特徴

1. 指導形態

学校のテスト対策から難関国公立大学対策まで生徒の習熟度に合わせて、生徒一人一人に合った個別指導を行っています。指導可能教科は全科目。また小論文や志望理由書作成など推薦対策も行っています。

2. 課題解決型授業『ちゅらぜみ』

ちゅらぜみは教師から一方的に知識を伝えるのではなく、生徒が中心になって活動を行うゼミ授業です。グループディカッションやプレゼンテーションを行い、主に社会人スキルと言われる力を身につける目的で行っています。

